

## 中期目標・中期計画（素案）検討状況

検討内容	検討状況
「検討する」等表現の整理	<p>「検討する」とした取り組みで、目標期間前期(H18年度~H20年度)での期限設定ができるものについては期限を明記</p> <p>例) P3 変更前 長期履修制度の導入を検討する。          変更後 長期履修制度の導入を3年以内に検討、実施する。</p>
中間的なチェックポイントの設定	<p>目標期間前期(H18年度~H20年度)終了時点で見直しを行うこととし、各取り組みについては、前期期間の取り組みとして記載。</p>
具体的数値目標の設定	<p>新たな具体的数値目標の設定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ P4 文学部英語英米文学科 「卒業時まで TOEIC Rで800点以上を目指す。」</li> <li>・ P6 環境共生学部食健康環境学専攻 「管理栄養士国家試験の合格率90%を目標として設定」</li> </ul> <p>&lt;参考&gt; 他の目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ P10 科学研究費補助金等の外部資金について、全教員の申請を目標。</li> <li>・ P10 研究論文や著書の発表数について、学部毎に目標を設定。</li> <li>・ P13 授業公開講座について、教員一人あたり1科目開講を目標。</li> </ul>
<p>大学の特色の打ち出し</p> <p>大学で何が学べるのか、何があるのか</p>	<p>実践的、総合的な教育を充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ P3,5 「教育・研究の充実と地域貢献の一体化」 「もやいすと」育成プログラムをカリキュラムに位置づけ、大学全体として実施。 「新熊本学」等の地域関連科目を教養教育カリキュラムの領域として設定し、内容を充実。</li> <li>・ P7 「大学院アドミニストレーション研究科にコース制導入」 公共経営・企業経営・情報管理・看護管理の4コース制を導入し、多方面からアドミニストレーションの基本概念的の修得を目指し、地域社会の要請に応える問題発見・解決型の教育研究を実践する。 地域貢献の推進</li> <li>・ P11~13 地域貢献の総合窓口「熊本県立大学地域連携センター」設置 大学全体で地域貢献にこれまで以上に取り組むため、コーディネーターや職員を配置。(組織、機能の充実)</li> </ul> <p>&lt;取組内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治体からの依頼・受託研究、政策形成過程への参加等の行政支援</li> <li>・ 様々な試験研究機関・地域企業等との共同研究の推進</li> <li>・ HPや講演会等による研究者や研究情報・成果の積極的な情報発信</li> <li>・ 授業公開講座や新たな出前講座の開催による多様な生涯学習ニーズへの対応</li> <li>・ 地域課題を学生の教育教材とする受託調査の推進、「もやいすと」育成プログラムによる学生の地域調査活動等を通じた地域の課題解決支援</li> <li>・ 食の安全安心や食育に関し、県や試験研究機関等との連携強化、教育研究及び情報提供機能を充実</li> <li>・ P11 「熊本県立大学地域連携センター」の取り組み 食育・食環境分野の情報集積・提供、食環境を地域の文化・食材・環境の視点から展開させる調査研究、食育推進、食環境に関する研修等の生涯学習機能を県や試験研究機関等と連携し充実する。</li> </ul>
教養教育の学内体制	<p>教養教育の重要性を再認識し、下記の方針に基づいて取り組む。</p> <p>&lt;教養教育の目標&gt;</p> <p>目標を設定し、全学共通教育として、実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題探究心の喚起、主体的に学習する意欲を引き出し、社会への関心、職業観を身につけさせる</li> <li>・ 幅広い視野や考え方、豊かな人間性や倫理観を身につけさせる</li> <li>・ 地域に学ぶことを重視し、実践的、総合的な教育を行う</li> <li>・ コミュニケーション能力を育成する</li> </ul> <p>&lt;教養教育の実施体制&gt;</p> <p>全学共通教育としての教養教育カリキュラムを編成し、管理、運営する体制を整備する。</p>